

# ユーザーガイド

## Profoto Air Sync

## Profoto Air Remote

Pour les autres langues, veuillez consulter:  
他言語は以下にアクセスしてください。  
[www.profoto.com/support](http://www.profoto.com/support)





## Profoto 製品をお選びいただき ありがとうございます!

お選びいただいた製品が新しいフラッシュであってもライトシェーピングツールであっても、弊社の半世紀を超える経験が製造に活かされていることは共通しています。

弊社の長年の経験から学んだことは、細部を一つたりともおろそかにしてはいけないということです。わたしたちは、十分に自信の持てるものだけを Profoto の製品としてお届けしています。各製品は出荷前に、多岐にわたる徹底的な検査を受けており、一定水準の性能、品質、および安全性に適合していない製品は出荷されません。

こうして出荷された Profoto 製品は、お客様を長期的に支援できると確信しています。とはいえ、製品の購入はその過程のほんの始まりにすぎません。製品をライトシェーピングに活かしていただくことこそが、現在の、また未来に向かっての本当の挑戦です。これこそが、弊社が幅広いライトシェーピングツールの品揃えをご用意し、常に最新技術を取り込んだ製品をお客様にお届けして、どのようなデバイスであってもお客様が思い浮かべるあらゆる光を形にするお手伝いをできることに誇りを持っている理由なのです。

無限のような可能性を前にして、最初は圧倒されてしまうかもしれませんが、きっとすぐに慣れていただけます。

弊社の Profoto アプリをダウンロードして MyProfoto アカウントに登録していただくと、Profoto デバイスを管理したり、製品情報とアップデートを確認することができます。トップクラスのフォトグラファーによるライトシェーピングを理解するためのヒントやコツもお届けします。弊社の持つ 50 年を超えるライトシェーピングの経験を分かち合うことで、皆さんの成長のお役に立てれば幸いに思います。

ぜひ Profoto 製品をご活用ください。

創業者 Conny Dufgran

# 一般的な安全上の注意事項



## 安全上のご注意

装置を使用する前にユーザーガイドをよくお読みください。ユーザーガイドは常に確認できるところに保管してください。Profoto 製品は屋内での使用を想定して作られています。湿度や強い電磁場にさらされる可能性のある場所、または可燃性のガスや粉塵のある場所に装置を置いたり、そのような場所で装置を使用したりしないでください。装置に水滴などがつかないようにしてください。花瓶など液体の入った容器を装置の上や近くに置かないでください。水や塵、ほこり、虫などのゴミが製品に混入した場合は、装置に触れずに、Profoto サービスにお問い合わせください。装置を湿度が高い条件下で急激な温度変化にさらさないでください。本体内部で結露が発生する可能性があります。製品を日光、熱源、火などの過度の熱にさらさないでください。バッテリーおよび/または製品筐体の損傷を防ぐために、輸送中は常にバッテリーを取り外すことを推奨します。バッテリーおよび/または製品筐体の損傷を防ぐために、製品を長期保管する際には常にバッテリーを取り外すことを推奨します。ユニットを掃除するには、中性洗剤で濡らせた柔らかい布で拭いてください。別の柔らかい乾いた布で拭きとります。



## 警告 - 感電注意

装置の点検、調整、修理は必ず公認の資格を持つサービススタッフのみが行うものとします。



## 注意 - やけどの危険 - 高温部品

高温の部品に素手で触らないでください。モデリングランプやフラッシュチューブを使用すると、特定の金属部品、フロントレンズ、ガラスカバーが使用時に強い熱を発生場合があります！ どのランプもごくまれに爆発し、高温の破片が飛び散ることがあります。モデリングランプやフラッシュチューブを人に向ける場合は近づけすぎないようにしてください。



## 大きな音

装置から突然大きな音がする可能性があります。聴覚保護具を使用するか、ジェネレーターとユーザー/その他周囲の人との間に 68 cm (27 インチ) 以上の最低安全距離を取ってください(特定のフラッシュジェネレーターについては、安全に関する情報を参照してください)。

## 目への危険

フラッシュ製品から有害の可能性のある光線が放射されます。動作ランプを直視しないでください。目を傷める恐れがあります。フラッシュが発光されることを予期していない被写体や重機操作中の人、または予期しないフラッシュにより怪我や危害を引き起こす可能性のある活動を行っている人に向けてフラッシュを発光しないでください。遠く離れた場所からリモートでフラッシュがトリガーされることもありますので注意してください。

## NOTICE RF に関する注意事項!

この装置は無線周波数帯を利用し、無線周波エネルギーを発生させます。デバイスの動作は現地の規制に従っていることをご確認ください。本デバイスが使用する周波数帯が他のユーザーによって使用中であることも考えられます。そのため、干渉の可能性を排除できません。規制や法令は随時変更されるので、最新のファームウェアとインストラクションを使用していることを確認し、ルールや規制に準拠していることを徹底してください。これらは、Profoto.com から無料でダウンロードすることができます。RF 被曝規制に基づき、エンドユーザーは通常の操作においてデバイスの 1 cm 以内に近づかないでください。



## 最終廃棄処分

製品が寿命に達した場合は、家庭ゴミと一緒に処分しないでください。装置には環境に有害な可能性のあるバッテリー、電気部品および電子部品が含まれています。装置はProfoto販売店に無料で返却いただくことによって、リサイクルに活用することができます。バッテリー、電気部品および電子部品の処分については、それぞれ現地の規制に従ってください。

# 目次

一般的な安全上の注意事項.....	4
パッケージの内容 .....	6
システムの説明.....	7
Profoto Air 製品 .....	7
Profoto Air Remote .....	7
Profoto Air Sync .....	7
各部名称 .....	8
用途 .....	10
シンク口.....	10
リモートコントロール.....	10
リモートカメラレリーズ.....	11
リレー .....	11
機能 .....	12
送信/受信モード選択 .....	12
チャンネル選択.....	12
グループ選択.....	12
リモートコントロール.....	13
マスターモード.....	13
コマンド確認 .....	14
テスト機能.....	14
高速モード .....	14
自動電源オフ .....	14
接続.....	15
バッテリー .....	15
操作手順 .....	16
リモートフラッシュシンク口.....	16
リモートカメラのレリーズ .....	20
リレー .....	22
その他の機能.....	24
保証.....	25
技術データ .....	26
Profoto Air Remote .....	26
規制情報 .....	27

## パッケージの内容



Profoto Air Sync (90 1032)

Profoto Air Remote (90 1031)



Profoto Air Sync キット (90 1035)

## システムの説明

Profoto Air はカメラとフラッシュ装置両方に便利なリモートコントロール機能を搭載したワイヤレスシステムです。小型で軽量の Profoto Air デバイスでは完全に自由な動きが可能で、仕事のクリエイティブな側面に集中することができます。

Profoto Air システムは、世界中で使用できるように 2.4 GHz 無線周波数帯の 8 つの選択可能な無線チャンネルの 1 つで動作します。

### Profoto Air 製品

内部に Profoto Air を搭載したすべての Profoto フラッシュジェネレーターは、Profoto Air システムによってコントロールできます。

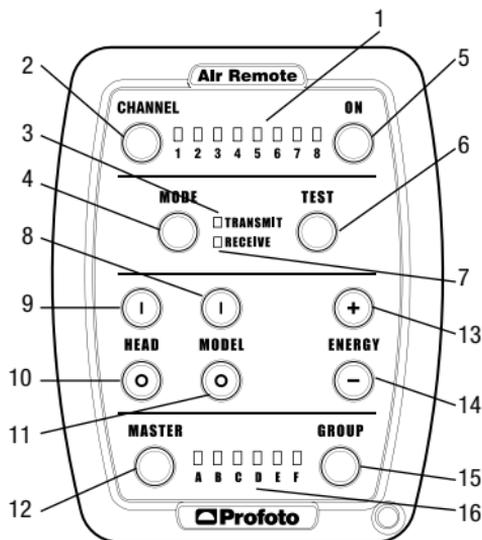
### Profoto Air Remote

Profoto Air Remote は、カメラでも手元でも、フラッシュ出力やモデリングライトのコントロールなど、ジェネレーターを完全にコントロールします。デバイスは、最大 6 つのグループに含まれる実質的に無数のジェネレーターを、マスターモードでいっせいに、または個々のグループでコントロールします。Profoto Air Remote では、リモートカメラリリースとフラッシュシンクロも可能です。

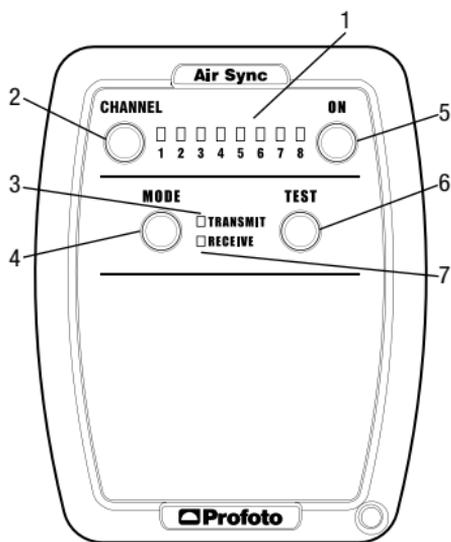
### Profoto Air Sync

Profoto Air Sync では、Profoto Air Remote と同じ高い性能での、実質的に無数のジェネレーターのリモートカメラリリースとフラッシュシンクロが可能です。

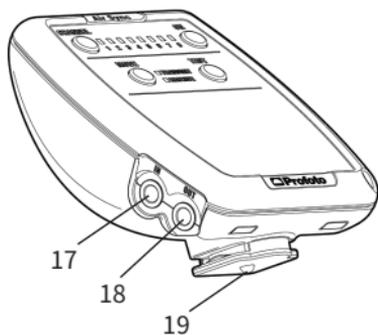
## 各部名称



Profoto Air Remote



Profoto Air Sync



接続

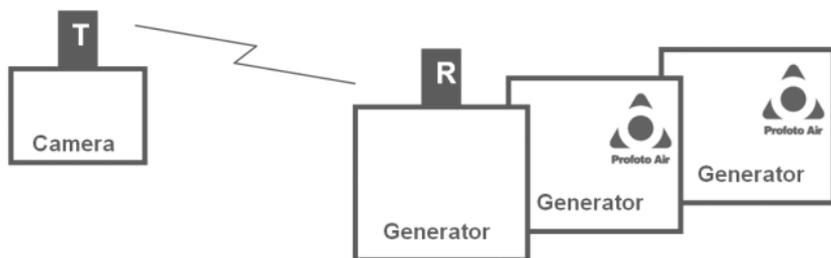
1. チャンネルインジケータ－
2. チャンネルボタン
3. 送信インジケータ－
4. モードボタン
5. 電源ボタン
6. テストボタン
7. 受信インジケータ－
8. モデルボタンI
9. ヘッドボタンI
10. ヘッドボタン0
11. モデルボタン0
12. マスターボタン
13. エネルギーボタン+
14. エネルギーボタン－
15. グループボタン
16. グループインジケータ－
17. Inコネクタ－
18. Outコネクタ－
19. ホットシューコネクタ－

## 用途

### シンクロ

Profoto Air Sync デバイスと Profoto Air Remote デバイスはどちらも、フラッシュジェネレーターのリモートシンクロに使用できます。同じ無線チャンネルをもつすべての Profoto Air ジェネレーターは同時にシンクロします。Profoto Air レシーバーを内蔵していないジェネレーターのために、Profoto Air デバイスをレシーバーとして接続し、使用することができます。

10



### リモートコントロール

Profoto Air Remote は、Profoto Air 機能が搭載されたジェネレーターのリモートコントロールに使用できます。

ジェネレーターでボタンを押したり、コントロールを切り替えたりする代わりに、Profoto Air Remote デバイスから設定や機能を調整することができます。ランプヘッドの出力設定をリモートでコントロールしたり、ランプヘッドのオン/オフを切り替えたり、モデリングライトのオン/オフを切り替えたりすることが可能です。Profoto Air Remote での変更内容は、ただちにジェネレーターに反映されます。

グループを使用して、1 つまたは複数のジェネレーター上の選択したランプヘッドを、Profoto Air Remote で同時にコントロールすることができます。グループを選択すると、バックグラウンドライトなど、いくつかのランプヘッドがある大きなライトバンクを1つの光源としてコントロールすることができます。

## リモートカメラリリース

Profoto Air Sync デバイスと Profoto Air Remote デバイスはどちらも、カメラのリモートリリースに使用できます。

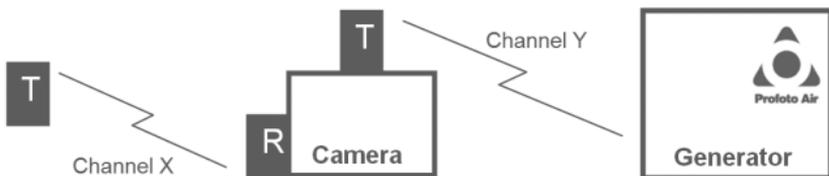
ワイヤレスリモートリリースでは、レシーバーとして利用される 1 台の Profoto Air デバイスはカメラに接続され、その他の Profoto Air デバイスはリリース信号のトランスミッターとして使用されます。



## リレー

Profoto Air Sync デバイスと Profoto Air Remote デバイスはどちらも、カメラのリモートリリースや、カメラとシンクロしたジェネレーターの自動フラッシュに使用できます。

2 台の Profoto Ai デバイスがカメラに接続されます。その 1 台は手持ちの Profoto Air デバイスからのリリース信号のレシーバーとして、もう 1 台はジェネレーターのシンクロ信号のトランスミッターとして作動します。リリース信号とシンクロ信号には、さまざまな無線チャンネルが使用されます。



## 機能

### 送信/受信モード選択

モードボタン[4]は、Profoto Air デバイスをトランスミッターまたはレシーバーとして設定するために使用されます。送信インジケーター [3] および受信インジケーター [7] は選択したモードを示します。

### チャンネル選択

チャンネル選択は、2.4GHz バンドの 8 つの特定の周波数の 1 つを選択するために使用されます。周波数は、信頼できる機能性を最適化するために周波数帯全体に均等に拡散されます。無線チャンネルの数が多いため、Profoto Air を使用している他のフォトグラファーや、広く使われている同じ 2.4GHz 周波数帯で動作する WLAN や Bluetooth デバイスなどの無線機器に干渉されないチャンネルを選択することができます。

1 つまたは複数のジェネレーターのシンクロやリモートコントロールを行うには、すべてのジェネレーターと Profoto Air デバイスに同じ無線チャンネルを設定する必要があります。リモートカメラリリースの場合、両方の Profoto Air デバイス (トランスミッターとレシーバー) に同じチャンネルを設定する必要があります。

Profoto Air Sync デバイスと Profoto Air Remote デバイスでのチャンネル選択には、チャンネルボタン [2] を使用します。選択した無線チャンネル (1-8) に対応するチャンネルインジケーター [1] が点灯します。

### グループ選択

グループは、選択されたジェネレーターランプヘッドのリモート無線コントロールを実行するために使用されます。同じグループに割り当てられるすべてのランプヘッドは同時にコントロールされます。ジェネレーターランプヘッドは、異なるグループに割り当てることができます。また、異なるジェネレーターのランプヘッドを同じグループに割り当てることができます。

Profoto Air Remote デバイスでのグループ選択には、グループボタン [15] を使用します。選択した無線チャンネルグループ (A-F) に対応するグループインジケーター [16] が点灯します。すべてのグループを選択するには、マスターボタン [12] を使用します。

## リモートコントロール

リモート無線コントロールは、Profoto Air 機能が内蔵されているジェネレーターに使用できます。

リモート無線コントロールを行うには、Profoto Air Remote デバイスのチャンネル設定とグループ設定の両方が、グループのランプヘッドのチャンネル設定とグループ設定と一致している必要があります。

ヘッドボタン1 [9] は、フラッシュランプヘッドをオンにするために使用されます。

ヘッドボタン0 [10] は、フラッシュランプヘッドをオフにするために使用されます。

モデルボタン1 [8] は、モデリングライトをオンにするために使用されます。

モデルボタン0 [11] は、モデリングライトをオフにするために使用されます。

エネルギーボタン+ [13] は、エネルギーレベルを上げるために使用されます。

エネルギーボタン- [14] は、エネルギーレベルを下げるために使用されます。

エネルギーボタンを短く (2 秒未満) 押すと、エネルギーレベルを 1/10 f-stop 刻みで調整することができます。

エネルギーボタンを長押し (2 秒以上) すると、エネルギーレベルを 1 f-stop 刻みで調整することができます。

グループのフラッシュランプヘッドの出力レベルが最小または最大の位置にある場合、すべての出力レベルは変更されません。以下のコマンド確認セクションを参照してください。

## マスターモード

マスターモードでは、同じリモートコントロールコマンドが、選択されたチャンネルのすべてのグループに送られます。

Profoto Air Remote デバイスでマスターボタン [12] を使用すると、すべてのグループが選択され、リモートコントロールコマンドの影響を受けます。

## コマンド確認

ランプヘッドの出力が最小または最大レベルに設定されているために、ジェネレーターが指示されたとおりに出力レベルを設定できない場合、Profoto Air Remote デバイスはコマンドが実行されなかったことを通知するために音声を発します。グループのすべてのフラッシュランプヘッドの出力レベルは変更されません。

## テスト機能

テストボタン [6] は、リモートカメラリリースやフラッシュのトリガーの場合に、シンクロ信号を手動で送信し、予測される機能を確認するために使用します。

また、テストボタン[6]は、リモートカメラリリースの場合に、リリース信号を送信するためにも使用されます。カメラがシングルモードに設定されている場合、テストボタン[6]を押すと、シングルショットが1回行われます。カメラが連続モードに設定されている場合、テストボタン [6] を押している間、カメラは撮影を続けます。ラグ効果により、テストボタン [6] を離した後、さらに数枚撮影される場合があります。

## 高速モード

Profoto Air Sync デバイスと Profoto Air Remote デバイスは、非常にわずかな遅延でシンクロ信号を配信します。高速モードでは、さらに遅延が短くなります。高速モードでは、バッテリー消費がかなり高いため、非常に短いシャッタースピードでカメラを操作するときのみ推奨されます。高速モードでは、リモートコントロール機能 (Profoto Air Remote で利用可能) は無効であり、作動しません。詳細については、追加機能の最後のセクションを参照してください。

## 自動電源オフ

Profoto Air デバイスは、無操作状態で30分経過すると、自動的にオフになります。自動電源オフ機能は無効にすることができます。詳細については、追加機能の最後のセクションを参照してください。

## 接続

Profoto Air Sync デバイスまたは Profoto Air Remote デバイスを、フラッシュジェネレーターやスピードライトをリモートでシンクロさせるトランスミッターとして使用する場合、デバイスはホットシューコネクター [19] を介して、または In コネクター [17] に接続されたケーブルを介してカメラに接続する必要があります。

Profoto Air デバイスをリモートフラッシュシンクロのレシーバーとして使用する場合、デバイスは、Out コネクター [18] に接続されたケーブルを介して、ジェネレーターのシンクロ入力ソケットまたはスピードライトの PC 端子に接続する必要があります。

シングルモードのリモートカメラリリースの場合、Profoto Air Sync デバイスまたは Profoto Air Remote デバイスは、Out コネクター [18] に接続されたケーブルを介してカメラに接続する必要があります。

連続モードのリモートカメラリリースの場合、Profoto Air Sync デバイスまたは Profoto Air Remote デバイスは、In コネクター [17] に接続されたケーブルを介してカメラに接続する必要があります。

## バッテリー

Profoto Air Sync デバイスと Profoto Air Remote デバイスは、2 個の標準的な単 4 電池で動作します。

## 操作手順

### リモートフラッシュシンクロ

Profoto Air デバイスは、PC 端子を備えたフラッシュジェネレーターや各種スピードライトをリモートでシンクロさせるために使用できます。

### カメラの設定

次のいずれかの方法で、Profoto Air デバイスをカメラに接続します。



a) Profoto Air デバイス上のホットシューコネクター [19] をカメラのホットシューにスライドさせます。



b) カメラのシンクロケーブルを Profoto Air デバイスの In コネクター [16] に接続します。

## ジェネレーターの設定 (内蔵 Profoto Air なし)

1. デバイスの Out コネクタ [18] からジェネレーターのシンクロ入力ソケットまたはスピードライトの PC 端子にケーブルをつないで、ジェネレーターに Profoto Air デバイスを接続します。
2. On ボタン [5] を長押しして、Profoto Air デバイスの電源を入れます。
3. 目的のチャンネルインジケーター [1] が点灯するまで、チャンネルボタン [2] を押しします。すべてのジェネレーターに同じチャンネルを選択する必要があります。
4. モードボタン [4] を押しして、受信インジケーター [7] が点灯していることを確認します。
5. スピードライトを使用する際の適切な設定については、実際のスピードライトのユーザーマニュアルを参照してください。



## ジェネレーターの設定 (内蔵 Profoto Air あり)

1. 無線を介してジェネレーターをシンクロに設定します。
2. すべてのジェネレーターで同じ無線チャンネルを選択します。

### シンクロ

1. On ボタン [5] を長押しして、カメラで Profoto Air デバイスの電源を入れます。
2. 送信インジケーター [3] が点灯していることを確認します。
3. 目的のチャンネルインジケーター [1] が点灯するまで、チャンネルボタン [2] を押しします。選択したチャンネルは、ジェネレーターやスピードライトの無線チャンネル設定と同じである必要があります。



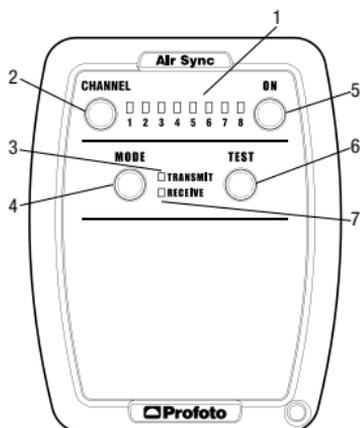
4. テストボタン[6]を押して、ジェネレーターやスピードライトが予期したとおりに発光することを確認します。

## リモートジェネレーターコントロール

Profoto Air 機能を内蔵したジェネレーターは、Profoto Air Remote デバイスで遠隔操作することができます。

## ジェネレーターの設定アップ

1. 無線を介してジェネレーターをシンクロに設定します。
2. すべてのジェネレーターで同じ無線チャンネルを選択します。
3. 同時に制御する必要があるすべてのランプヘッドには、同じグループ設定を選択します。



## Profoto Air Remote のセットアップ

1. On ボタン [5] を長押しして、Profoto Air Remote デバイスの電源を入れます。
2. 送信インジケータ [3] が点灯していることを確認します。
3. 目的のチャンネルインジケータ [1] が点灯するまで、チャンネルボタン [2] を押します。選択したチャンネルは、ジェネレーターの無線チャンネル設定と同じである必要があります。
4. 目的のグループインジケータ [16] が点灯するまで、グループボタン [15] を押します。選択したグループは、コントロールされるランプヘッドのグループ設定と同じである必要があります。



## グループの選択

コントロールするランプヘッドのグループに対応するグループインジケータ [16] が点灯するまで、グループボタン [15] を押します。

## すべてのグループの選択

すべてのグループを選択するには、マスターボタン [12] を押します。

## ランプヘッドの ON/OFF を切り替える

ヘッドボタン [9] と [10] を押すと、選択したグループのすべてのフラッシュランプヘッドの ON/OFF を切り替えることができます。

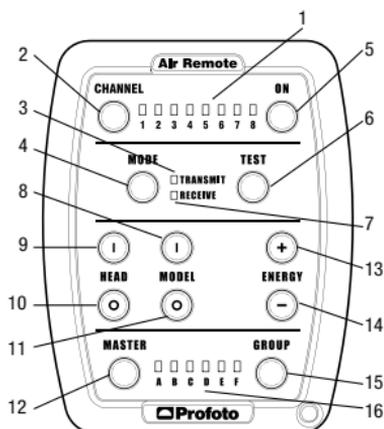
## モデリングライトの ON/OFF を切り替える

モデルボタン [8] と [11] を押すと、選択したグループのすべてのモデリングライトの ON/OFF を切り替えることができます。

## 出力レベルの変更

エネルギーボタン [13] と [14] を使用すると、選択したグループのエネルギーレベルを上げたり下げたりすることができます。

- エネルギーボタンを短く (2秒未満) 押すと、エネルギーレベルを 1/10 f-stop 刻みで上げたり下げたりすることができます。
- エネルギーボタンを長押し (2秒以上) すると、エネルギーレベルを 1 f-stop 刻みで上げたり下げたりすることができます。



## リモートカメラのリリーズ

ワイヤレスでのリモートカメラリリーズでは、2台のProfoto Airデバイス(レシーバーとトランスミッター)を使用することができます。この場合、カメラには電子シャッターリリーズ用接続を装備する必要があります。

### カメラの設定

1. シングルショットの場合は、カメラをシングルモードに設定します。カメラが連続モードに設定されている場合、テストボタン [6] を押している間、カメラは撮影を続けます。連続モードは、2 コマ/秒以上の高速撮影に推奨されます。
2. 使用中のカメラ(Canon、Hasselblad、Nikon、Phase One など)に対応するカメラリリーズケーブルを、カメラから Profoto Air デバイスの Inコネクター [17] に接続します。



### 注意!

カメラをシングルモードでリリーズし、2 fps 以上が必要な場合は、カメラからのケーブルを Profoto Air デバイスの Out コネクター [18] に接続する必要があります。この接続は、カメラをマニュアルフォーカスに設定している場合や、カメラと本体の接続にプレリリーズケーブルを使用している場合にのみ推奨されます。プレリリーズ機能の詳細については、「カメラリリーズケーブル」のセクションを参照してください。

## レシーバーの設定

このセクションは、ワイヤレスでのリモートカメラリリースとケーブル経由のリモートカメラリリースのどちらでもレシーバーとして使用される Profoto Air デバイ스에適用されます。

1. On ボタン [5] を長押しして、レシーバーとして使用される Profoto Air デバイスの電源を入れます。
2. チャンネルボタン [2] を押し、チャンネルインジケーター [1] に示すとおりにラジオチャンネルを選択します。
3. モードボタン [4] を押し、受信インジケーター [7] が点灯していることを確認します。

## ワイヤレスでカメラをリリースする

1. On ボタン [5] を長押しして、トランスミッターとして使用される手持ちサイズの Profoto Air デバイスの電源を入れます。
2. 送信インジケーター [3] が点灯していることを確認します。
3. カメラに接続されている Profoto Air デバイスと同じチャンネルインジケーター [1] が点灯するまで、チャンネルボタン [2] を押しします。
4. カメラがリリースされるまで、テストボタン [6] を長押しします。

## ケーブルを介してカメラをリリースする

1台の Profoto Air デバイスをケーブルを介してカメラに接続するだけで、カメラを有線でリモートでリリースすることができます。

1. カメラがリリースされるまで、カメラに接続された Profoto Air デバイスのテストボタン [6] をで長押しします。

## カメラレリーズケーブル

リモートカメラレリーズ用のレリーズケーブルには、レリーズケーブルとプレレリーズケーブルの2種類があります。

通常のレリーズケーブルでは、カメラと Profoto Air ユニットを接続して、リモートカメラレリーズを行います。プレレリーズケーブルには、プレレリーズモードを有効にするためのスイッチがあります。プレレリーズ機能を有効にすると、カメラは起動状態のままになり、すばやく応答することができます。これは、カメラのレリーズボタンを連続して半押しするのと同じ機能です。

## リレー

Profoto Air デバイスは、カメラのリモートレリーズや、ジェネレーターのカメラとシンクロした自動フラッシュに使用できます。この場合、カメラには電子シャッターレリーズ用接続を装備する必要があります。

## カメラの設定

1. シングルショットの場合は、カメラをシングルモードに設定します。カメラが連続モードに設定されている場合、テストボタン [6] を押している間、カメラは撮影を続けます。
2. In コネクター [17] に接続された使用中のカメラに対応するカメラレリーズケーブルを使用して、一方の Profoto Air デバイス (レシーバー) をカメラに接続します。
3. Profoto Air デバイス (レシーバー) の電源を入れ、受信インジケータ [7] が点灯していることを確認します。
4. チャンネルボタン [2] を押し、無線チャンネルを選択します。
5. ホットシューコネクター [19] または In コネクター [17] を介して、他方の Profoto Air デバイス (トランスミッター) をカメラに接続します。



6. Profoto Air デバイス (トランスミッター) の電源を入れ、送信インジケーター [3] が点灯していることを確認します。
7. チャンネルボタン [2] を押し、無線チャンネルを選択します。チャンネルは、レシーバーとして使用される Profoto Air デバイスで選択されたチャンネルと異なる必要があります。

### ジェネレーターの設定 (内蔵 Profoto Air なし)

1. デバイスの Out コネクター [18] からジェネレーターのシンクロ入力ソケットまたはケーブルをつないで、ジェネレーターに Profoto Air デバイスを接続します。
2. Profoto Air デバイスの電源を入れ、受信インジケーター [7] が点灯していることを確認します。
3. カメラのトランスミッターの役割をする Profoto Air デバイスと同じ無線チャンネルを選択します。



### ジェネレーターの設定 (内蔵 Profoto Air あり)

1. 無線を介してジェネレーターをシンクロに設定します。
2. カメラのトランスミッターの役割をする Profoto Air デバイスと同じ無線チャンネルを選択します。

## リリースとリレー

1. 手持ちサイズの Profoto Air デバイスの電源を入れ、送信インジケーター [3] が点灯していることを確認します。
2. カメラのレシーバーの役割をする Profoto Air デバイスと同じ無線チャンネルを選択します。
3. カメラがリリースされ、ジェネレーターが発光するまで、テストボタン [6] を長押しします。



## その他の機能

### 高速モード

高速モードは、シンクロ信号の遅延時間を特に短くする必要がある場合に使用します。

1. 高速モードに入るには、モードボタン [4] を7秒間長押しします。そうすると、ピープ音が鳴り、送信インジケーター [3] が高速で点滅し始めます。
2. 高速モードを終了するには、モードボタン [4] を1回押します。

### サイレントモード

このセクションは、Profoto Air Remote デバイスにのみ適用されます。

1. Profoto Air デバイスの電源が切れていることを確認します。
2. サイレントモードに入るには、送信インジケーター [3] が点灯するまでヘッドボタン [10] と On ボタン [5] を同時に長押しします。
3. デバイスの電源が切れると、サイレントモードは自動的に無効になります。

## 自動電源オフを無効にする

1. Profoto Air デバイスの電源が切れていることを確認します。
2. 自動電源オフ機能を無効にするには、モードボタン [4] と On ボタン [5] を同時に長押しします。自動電源オフ機能を解除すると、すぐに短いピープ音が鳴ります。
3. 自動電源オフ機能は、デバイスの電源が切れると自動的に有効になります。

## 工場出荷時の設定

1. Profoto Air デバイスの電源が切れていることを確認します。
2. Profoto Air デバイスを工場出荷時の設定にリセットするには、ピープ音が3回鳴るまで、テストボタン [6] と On ボタン [5] を同時に長押しします。

## 保証

保証情報はこちらをご覧ください。<https://profoto.com/support/warranty>

# 技術データ

## Profoto Air Remote

Profoto Air Sync

---

### 仕様

---

周波数帯	2.4 GHz (2404 ~ 2479.3 MHz)
個別の無線チャンネル	8
無線電力量	<10dBm
動作距離	最大 300 m (周囲に障害物がない場合)
バッテリータイプ	2 × 単 4 電池
バッテリーの平均的な持続時間 送信モード 高速/通常	10 時間/140 時間
バッテリーの平均的な持続時間 受信モード	30 時間
シンクロ遅延、高速/通常モード	200 μs/465 μs
アンテナタイプ	搭載
自動電源オフ	無操作状態 30 分後
シンクロ信号 in	ISO 518 ホットシューと 3,5mm フォンプラグ
シンクロ信号 out	3,5mm フォンプラグ

---

### サイズ

---

寸法	70x50x40 mm (2.7x1.9x1.6 インチ)
重量 (バッテリー装着時/非装着時)	40 g/70 g (1.4 oz/2.5 oz)

---

すべてのデータは公称値で、Profoto はさらなる予告なしにこれを変更する権利を保持しています。

## 規制情報

### 無線スペクトルの世界的な使用

Profoto Air システムは、SRD (短距離デバイス) 用のライセンスフリーの 2.4 GHz ISM 帯で動作します。この周波数帯は、世界のほとんどの場所で使用できます。地域的な制限が適用される場合があります。

#### 注:

Profoto Air Remote、Profoto Air Sync を操作する地域の国別規制を参照し、それらに従っていることを確認してください。

### EU 適合宣言

ここに、Profoto Aktiebolag は、無線機器タイプの Profoto Air Remote、Profoto Air Sync が指令 2014/53/EU に準拠していることを宣言します。

EU 適合宣言の全文は、以下のインターネットアドレスでご覧いただけます。

<https://profoto.com/int/support/declaration-of-conformity>

### 英国適合宣言

ここに、Profoto Aktiebolag は、Profoto Air Remote、Profoto Air Sync が Radio Equipment Regulation 2017 に準拠していることを宣言します。

英国の適合宣言の全文は、次のウェブサイトからアクセスできます：

<https://profoto.com/int/support/declaration-of-conformity>

### 英国の輸入業者: Profoto Ltd

Lytchett House, 13 Freeland Park, Wareham Road, Poole, Dorset, BH16 6FA, UK

## United States and Canada

### FCC サプライヤー適合宣言 (SDoC)

#### Profoto AB

トランスミッター / レシーバー

モデル: Profoto Air Remote、Profoto Air Sync

製品番号: PCA5102-0000、PCA5108-0000

FCCID を含む: W4G-RMI3 および IC: 8167A-RMI3

スウェーデンにて設計、ポーランドにて製造

#### 責任当事者 -

#### 米国お問い合わせ先

#### Profoto US

Profoto US

220 Park Ave

Suite 120

Florham Park NJ 07932

+1973-822-1300

us-info@profoto.com

#### F.C.C. および Industry Canada

Compliance Statement (Part 15.19) このデバイスは、FCC 規則の Part 15 および Industry Canada の RSS-210 に準拠しています。

操作は次の2つの条件に従います:

1. このデバイスは有害な干渉を起こすことはありません、
2. このデバイスは、予期せぬ動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した任意の干渉を受け入れます。

認証/登録番号の前の「IC」という語は、Industry Canada の技術仕様を満たしていることを意味するに過ぎません。

Ce dispositif est conforme aux normes RSS-210 d'Industrie Canada. L'utilisation de ce dispositif est autorisée seulement aux conditions suivantes :

1. il ne doit pas produire de brouillage et
2. l'utilisateur du dispositif doit être prêt à accepter tout brouillage radioélectrique reçu, même si ce brouillage est susceptible de compromettre le fonctionnement du dispositif.

Les lettres 'IC' n'ont aucune autre signification ni aucun autre but que d'identifier ce qui suit comme le numéro de certification/ d'enregistrement d'Industrie Canada.

### **警告 (Part 15.21)**

コンプライアンスの責任を負う当事者によって明らかに承認されていない変更または修正が加えられた場合は、本機器を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。

### **FCC Radio Frequency Exposure**

警告: Profoto A10 デバイスは、米国 FCC Radio Frequency Exposure 限度以下のレベルの無線周波数エネルギーを放射します。

しかし、このデバイスは、通常の操作時に人と接触する可能性を最小限に抑える方法で使用する必要があります。手元での操作に関しては、このデバイスは、身体から 1.0cm 以上離れた場合に FCC RF Exposure ガイドラインに適合することがテストで確認されています。

### **IC RF Exposure 限度**

Profoto A10 デバイスは、非管理環境に関して規定されている IC RSS-102 放射線被ばく限度に準拠しています。手元での操作に関しては、このデバイスは、身体から 1.0cm 以上離れた場合に IC RF Exposure 限度を満たすことがテストで確認されています。

## Limites d'exposition RF IC

Le dispositif Profoto A10 est conforme aux limites sur l'exposition aux rayonnements IC RSS-102 définies pour un environnement non contrôlé. En mode manuel, ce dispositif a été testé et respecte les limites d'exposition IC RF lorsque ce dernier est placé à au moins 1 cm du corps.

### 日本

本モジュールは、日本国内での販売および操作を目的としたモジュール認証を取得しています。

特定無線設備の種類

特定無線設備の分類：

第2条、第1項、第19号

2.4GHz広帯域低消費電力データ通信

上記のとおり、電波法第38条の24第1項の規定に基づく認証を行ったものであることを証する。

これは、電波法第1項第38条24の規定に基づき、上記の型式別認証が付与されたことを証明するものです

。



R 202-SMH035

### 韓国

해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없음.

## 台湾

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

## クレジット

その他の商標と商品名は各所有者の所有物です。

Profoto AB  
Box 1264,  
17225 Sundbyberg  
Sweden

+46 (0) 8447 53 00  
info@profoto.com  
www.profoto.com

 **Profoto**

技術データと製品情報は予告なく変更される場合があります。

PGM0038-0000 A1 344091-2. スウェーデンにて印刷。